

保健だより



2年生のみなさん、保護者の皆さまへ

令和6年7月12日

2年生 いのちの授業号

和泉市立槇尾中学校 保健室

7月2日(火) 2年生対象 いのちの授業 が終わって

講師 助産師 近藤陽子先生

今回の授業前と授業後に行ったアンケート結果を少し紹介します。

授業前アンケート

相手の心と体は
もちろん、
自分の心と体を
大切にできる行
動がとれるよう
になってほしい
ですね。

Q. 友人に一番してもらいたいことは？

A. ふつうに話して、困っていたら助けて、仲良くして、沢山会話をし、自分のことを理解してほしい、ゴメンとアリガトウを言、その日の気分だからわからない、しゃべりかけて、なんでも相談して、大切にしてもらいたい、自分の気持ちを互いに言い合えるようにしてもらいたい、信じてほしい、苦しいとき寄り添ってほしい、本当のことを言ってほしい など

Q. 友人に一番してもらいたくないことは？

A. 無視、ふつうせえへんやろということ、借りパク、ケンカ、自己中心的、やめてと言ってもやめないこと、陰口（直接いってほしい）、金の貸し借り、悪口、暴力、笑われること、なぐる、ける、人によって態度を変える、うそ、友達だからとずっと一緒にやめて、急に無視や態度を変えられること、意見のおしつけ、大事なことをなあなあにする、いじり、強制 など

授業前アンケート

Q. いのち についてどんなイメージ？

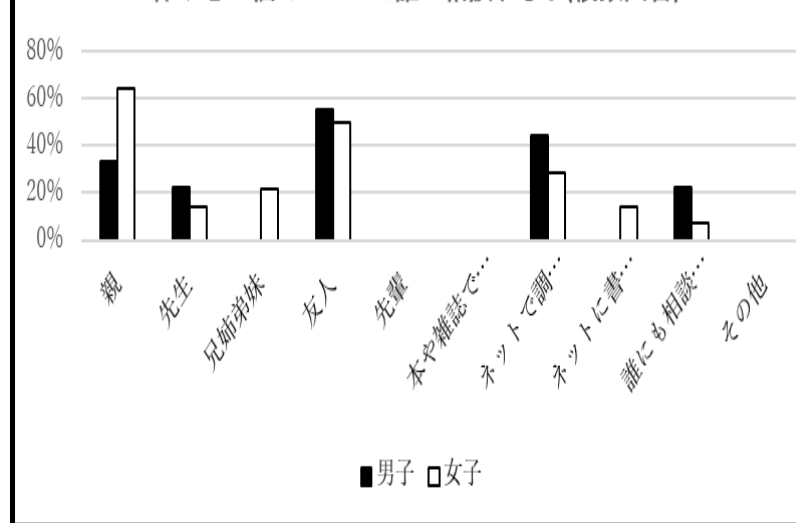
A. 大切、自分を支えてくれる大切なもの、赤色、暖かい感じ、生命活動、一度失うと元に戻らない、代わりのないもの、生き物、天から授かったもの、それぞれの生き方、親と自分にとって代えのない唯一無二のもの、自分が生きていること、新しい生命が生まれる、一人1個の等価値のもの、生き物、かけがえのない存在、奇跡、なくては生きていけない、守らなければいけない物 など

“いのち”をテーマに、気さくな語り口調で愛に包まれるような授業をしていただきました。自分の命が始まった瞬間の大きさを目で確かめ、お母さんのおなかの中での成長の様子、命の道を通して出産の様子、自分もお母さんも頑張ったことをお話や映像、赤ちゃん人形、骨盤の模型などを見て教わりました。パーソナルスペースではお互いが心地よく過ごせる物理的距離の取り方についても説明を受けました。途中、学年の先生方によるデートDVの例も見ました。

- これから先、周りに困っている人がいたら正しい知識を伝えてあげてほしい
- 自分や他者の 心と身体 を大切にできる行動をとってほしい
- 恋愛するとき、相手を思いやってほしい

授業後アンケート

体や心の悩みについて誰に相談する？(複数回答)



授業後アンケート

Q. いのち についてどんなイメージ？

A. 命と言われるとやはり今生きている時間こそが命と考えている、愛がないと育たないもの、たくさんの人たちがいるからそこに命がある、一人一つしかないものでたくさんの愛でできている、大切に大事な物 など

ウラ面には、感想文の一部を紹介したいと思います。
同じお話を聞いていた他の人はどう感じたのでしょうか。

・相談相手はおうちの方や友人と答える人が多いです。
・相談するといってもなかなか言い出せないことだってありますよね、「気になることがあるんだけど...」「これってどう思う？」などと話始めてみてはどうか。相談先は内容によって変えてもいいと思います。
・ネットで正しい情報を得るために信頼できる情報源を調べてください。総務省などの省庁が出している情報、新聞社などの大手メディアが出している情報、大手企業が発信している情報などは信頼性が高い場合が多いです。

感想文よい

- 命はいろんな生物が持っていて1つしかないもの。お父さんやお母さんや赤ちゃんとかが頑張って、1つの命が生まれるからとてもすごいこと。人との付き合い方でもパーソナルスペースを考えて、思いやりを持って接するのが大事だと思った。
- 今まで以上に親や周りの人に感謝しないといけないし、私が将来、産んだ子供には親が私に与えてくれた愛以上をお返ししないといけないと思った。
- 今日の授業を受けて思ったことは、自分たちは何人もの人に助けられて愛された「かけがえのない存在」でそこにいるだけで奇跡のような人なんだなと分かった。
- 命とはいろんな人がいるから命がうまれるのであり、新しい命がうまれたときは喜んで愛されて大切にされることで、優しさや勇気とかが生まれたりする。命がうまれてお母さんの体の外に出てくるまでがすごく大変。
- 自分の命のつながりに感謝。今この命を大切にしたい新しい命が生まれてくるのを楽しみに生きたいと思った。
- 昔の実験で赤ちゃんは抱っこされず目を合わされずしゃべりかけられずにいると、1才の誕生日を迎えられないと知って驚いた。精神的、身体的、社会的暴力を受けた時「嫌だな」と思ったらすぐに近くの大人や友人、身近な人に相談した方がいい。一人一人が自分の「命」を大切にしたい自分とどう向き合っていくかが大切だと思った。
- 知っていることもあったけど、人は初め0.1mmしかないこと、羊水を飲むこととか、知らないこともたくさんあった。人は愛がないと生きていけなくて、自分が今生きていることは誰かに愛されたことがある証だとわかった。自分がどれだけ愛されているかがわかって自分も自分自身を大切にしたいといけないなと思った。



- 自分たちは愛してもらえたから今生きていることが分かった。新たな命を生み出すにはたくさん努力と苦労が必要なことも分かった。
- 人間がどうやって産まれてくるか、なんとなくでしか知らなかったけど、詳しく知ることができてよかったと思った。赤ちゃんが生まれるときの大きさが思っていた数倍小さくて驚いた。いのちの大切さとか、人とのパーソナルスペースのこととか考える機会になってよかった。これからもたくさん考えていきたいと思った。
- おなかの中にいる赤ちゃんについて詳しく分かった。分からないことがあったので教えてもらえてよかった。思ったことはお母さんがこんなにも苦労して育ててくれたのだなという感謝。そして自分も赤ちゃんができたら「がんばろ！」って思った。考えたことはどうして半数の人が頭を下にして産むんだろ？って思ったので帰ったら沢山調べようと思う。今日勉強して、たった一つの自分の命を大切にして、皆も不幸にならさないように大切にしていこうと思った。
- 赤ちゃんが子宮から出てくるときに体を回転させて出てくるのがすごいと思った。自分もそれをしてたんだなと思うと不思議な気持ちになりました。いくら栄養を赤ちゃんにあけても話しかけたり、目を合わせたりしないと死んでしまうというのが衝撃的だった。赤ちゃんが元気に育つためにはたくさんすることが必要なんだと思った。
- 赤ちゃんが生まれてくるとき頭の向きなどいろいろ知れた。もし自分がお母さんになったら赤ちゃんを愛して大切に育てていきたいと思う。
- 産んでくれたことに感謝しようと思った。言い合うことがあるけれど自分のために言ってくれていることを理解する。
- 「いのちの授業」の映像を見て命が誕生して外の世界にでてくることは、親や周りの人の幸せであることに気がついた。自分のもらったこの命を大切にしていきたいと改めて思った。同時に生んでくれたお母さんに感謝しないといけないなと思った。産まれてくるときは頭の骨が9枚くらいに分かれているとか、知らないことがたくさん知れたので、またいろいろ調べてみたいなと思った。